

国際理事候補者推薦について (8 複合議長承認)

2015 年ハワイで開催された、ライオンズクラブ第 98 回国際大会に於いて、34 年ぶり我国より世界のリーダーとして、MD334 より山田實紘国際会長が就任されました。

今後、日本から輩出する国際理事は、ライオンズにて数々の経験、資格、知識を持ち、国際理事会に於いて日本を代表して、堂々と活動できるグッドスタンディングライオンのメンバーである事が求められるのではないかと思います。

そこで、我国での国際理事候補者推薦に当り、各複合地区は、推薦手続規則によりローテーションにて、選出している中で、より日本を代表するに相応しい国際理事を輩出する為に

1. 日本ライオンズの国際理事候補者推薦は、複合地区はローテーションとする。複合地区内での選出は、従来より準地区はローテーションを原則としている。但し選出当番地区に適任者不在他の場合、次の当番地区から選出するが、ローテーションでない選出方法としては、各準地区に国際理事推薦委員を設け、複合地区国際理事候補者推薦委員会を開催し、複合地区を代表する国際理事候補者を一名推薦する選出方法もあります。
2. 「健康状態・ライオンズ経験・知識・人格等に問題なく英会話・パソコン等にも多少精通しているメンバーが相応しい」と考えます。
3. 国際理事候補者推薦に当り、個人差はあるものの、国際理事は年間数回に亙る長時間の海外会議出席等、数々のハードな業務を求められる現状を考え、国際理事就任時、出来る事なら満 75 歳以上でない事が望ましいと考えます。

以上 3 項目を、8 複合で定められた「国際理事候補者推薦手続規則」に MD330～337 の参考指針として追加挿入する事により、日本ライオンズの国際理事候補者の推薦は日本を代表し世界に誇れる、より素晴らしいメンバーを輩出でき、国際理事会での更なる活躍が大いに期待される事でありましょう。